

特別展

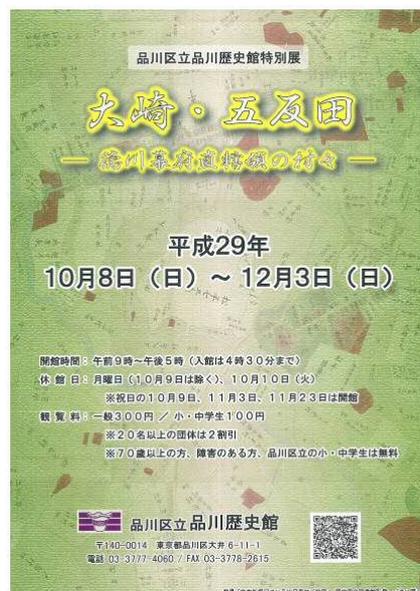
大崎・五反田 —徳川幕府直轄領の村々—

期 間 平成29年10月8日（日）～12月3日（日） 49日間
会 場 1階ロビー 第二展示室 小講堂
入館者数 3,561名

〔開催趣旨〕

江戸時代、大崎・五反田地域は徳川幕府の直轄領として将軍の鷹場に指定されたほか、将軍家の菩提寺である増上寺の下屋敷や多くの寺社、松江藩や鳥取藩、岡山藩といった諸大名の屋敷が開かれた地域である。この10年間、当該地域に関する近世文書の発見が相次ぎ、近世村落の諸相を知ることができるようになってきた。新出資料の調査結果を踏まえ、本展では江戸時代の大崎・五反田を、村・寺社と門前町・大名屋敷という3つの視点から紹介することを企図した。

また、東京都立大崎高等学校ペーパージオラマ部と協働して、江戸時代の大崎・五反田の風景を想定したペーパージオラマを作製した。



〔展示概要〕

第一章 現在の大崎・五反田

第一節 大崎・五反田地域の発展

第二章 徳川幕府直轄領の村々

第一節 目黒川と中原街道

第二節 品川領・馬込領の村々

第三節 将軍の鷹場と東海道品川宿の助郷村

第三章 寺社と門前町の展開

第一節 品川台町とその周辺-了真寺・本立寺・寿昌寺-

第二節 鎮守雉子宮と別当宝塔寺

第三節 上大崎の増上寺下屋敷

第四章 大崎の大名屋敷

第一節 松平不昧の楽園から御台場附属陣屋への転換

第二節 大崎屋敷の終焉-御殿山外国公使館建設計画-

第五章 寺社の石造文化財と発掘された近世遺跡

〔記念イベント〕

大崎・五反田の村と武家屋敷を歩く

日 時：10月29日（日）13：00～16：30

見学予定地：雉子神社、本立寺・袖ヶ崎神社、仙台藩邸跡、松江藩・鳥取藩邸跡、
居木橋

※当日、雨天のため中止

お茶を楽しむ会（協力：品川区華道茶道文化協会）

日 時：11月3日（金・祝）①10：00～12：00 ②13：00～15：00

会 場：書院

参加人数：125名

学芸員のひとりごと～展示の見どころ解説

日 時：11月3日（金・祝）14：00～15：30

解 説：富川 武史（品川歴史館学芸員）

会 場：講堂

参加人数：50名

特別展記念講演会「文献と考古で語る江戸時代の大崎・五反田」

日 時：11月18日（土）13：00～16：15

講演内容：

「幕府直轄領 大崎・五反田の風景」

富川 武史（品川歴史館学芸員）

「発掘調査からみる大崎・五反田―寺社・大名屋敷―」

中野 光将（清瀬市郷土博物館学芸員）

会 場：講堂

参加人数：50名

〔販売物、発行図書〕

特別展図録『大崎・五反田―徳川幕府直轄領の村々―』

販売価格 1,000円（A4 181頁）

特別展記念菓子「抹茶マドレーヌ・ブラウニー」

（協力：社会福祉法人福栄会 福祉ショップ「シンフォニー」）

販売価格 200円 期間中売上 123個

〔広報〕

広報しながわ10月1日号、屋外看板、ポスター・ちらし、歴史館ホームページ等